

No. 138

2009
Nov.

11

KSKR

きずな
THE KIZUNA

For Mem.

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

奈良県自閉症協会
ニュース

発行人:

関西障害者定期刊行物協会

編集人: 奈良県自閉症協会

支部長&事務局: 河村舟二

〒639-1005

大和郡山市矢田山町 84-10

購読料 1部 100円

会員は会費に含まれています。

親と専門家の協働

の11月1日京都のシルクホールでNHK・ハートフォーラムがありました。京都府自閉症協会40周年記念大会も兼ねており、独自に医者や教育関係者の部会である「専門部」を組織している京都府自閉症協会ならではの興味深い内容でした。ちなみにテーマは「自閉症支援・京都に生きて一親と専門家の協働」でした。

佐々木正美先生による講演では、1 自閉症スペクトラムの特性/ 専門家2 発達障害の特性/ 当事者3 行動・感情の特性3 行動・感情の特性4 私たちと発達障害者の関係5 発達障害の世界/ 専門家6 療育・保育・教育・支援/ 共生のために・・・などの話がありました。

このなかで、自閉症の人たちには「ゆっくりしていねい」な説明対処。彼らが望むのは「支援より理解」であり、「無理解で熱心な支援は迷惑」であるということ。空気を読むのが苦手で見え弱点・欠点と決めつけてなされる、「治療的な対応よりも、本来の持ち味(特性)が発揮できるような援助を」。彼らの「よき理解者=愛情がある」となること。すなわち、発達障害の人は、よき理解者のいるところでのみ、安定した適応ができる。という原則などを、ローナ・ウイングやパトリシア・ハウリンの話を引用されて興味深く話されました。後半のシンポジウムでは「京都におけるこの10年の変化」のテーマのもと、京都市発達障害支援センターとNPO 法人生活支援センターあすく京都市の発達相談などの連携と協働の様子が語られ、全てに京都府自閉症協会が主導的に関わっている様子と行政の理解が進んでいる様子は奈良県の我々にはとても羨ましく思われました。

な おこのNHK・ハートフォーラムはラジオで放送されるようです。京都府自閉症協会の宮内さんから次のメール情報頂いています。(河村) ...京都府自閉症協会の宮内です。...11月1日に京都で開催しました「NHK ハートフォーラム~京都府自閉症協会40周年記念大会~ 自閉症支援・京都に生きて一親と専門家の協働」がラジオで全国放送されることになりました。

11月15日(日) 8:00~8:30と19:00~19:30の2回放送 NHK ラジオ第2放送「ともに生きる」'NHK 厚生文化事業団だより'です。

午前は、「親と専門家の協働一まず互いに理解し合って、そして社会共通の理解に協力し合って」と題して佐々木正美先生にご講演いただきました。

午後のシンポジウムでは、テーマを「京都におけるこの10年の変化」とし、京都市発達障害者支援センター長の門真一郎先生、NPO 法人生活支援センターあすく理事の岡美智子さんと工房あすく職員の駒田健一さん、高機能・アスペルガー一部の真田雅子さん、京都市発達相談員の宮内それぞれの立場からの報告をし、佐々木先生にアドバイザーとして入っていただき、京都市児童福祉センターの村松陽子先生に司会進行していただきました。

ラジオ放送では、午前・午後の録音が中心の番組になるようです。

この日催しでは、自閉症のご本人たちのサークルによる演奏やダンスで幕開けとなり大いに盛り上がりました。

今年が京都府自閉症協会40周年記念の年ということでNHK ハートフォーラムとのドッキングで開催しましたので、開会式では、京都府保健福祉部長、京

一九九六年五月一日発行第三種郵便物承認 毎日発行

都市保健福祉局長にご出席いただき、府知事・市長からの御祝辞を頂戴しました。また、衆議院議員の山井和則様、参議院議員の松井孝治様、市会議員の方々からもメッセージや祝電をいただきました。

協会本部からもご祝電を頂戴し感謝しております。シルクホールという大きな会場でしたので、どれだけの方にご参加いただけるのか心配しましたが、悪天候にもかかわらず560名余りの参加がありホッとしました。夜には祝賀会を催し50周年をお祝いしました。近畿ブロックからも応援に来ていただき感謝です。大久保さん、河村さんには祝賀会にもご出席いただきありがとうございました。11月15日、NHK ラジオをお聞きいただけましたらうれしいです。



話してくださいました。

障がい者が支援者側になれる事もあるのです。大切なのは、やはり支援の体制づくりとそのための拠点づくり。そしてその為の関係づくり人材づくり。

u e s h i m a

2 回目 (8月18日)

フリートークが中心で和やかな雰囲気の中、お話が進みました。

仲間作りの大切さのお話でいろいろな意見が出ました。自閉症の人たちにとっての仲間とは？どれだけ本人たちが必要としているのか？就労後も仲間がいること、自分の居場所があることで頑張れたり、ほっとできたりすることが大事なのではとの渡辺さんのお話にうなずいたり、「うちの子は仲間が必要って思ってるのかな？」などの意見も出ました。自閉症の人でも仲間との関わりを必要としているのは確かだし、形はいろいろ違うのかもしれないなあとも思いました。

参加者のみなさんのいろいろなお話が次々尽きず、とても有意義な時間になりました。

Y. t a n a k a

成人

の為の支援勉強会 ご報告と 追加勉強会のご案内

8 月から始まったひまわりの家の施設長渡辺さんが講師の成人の為の勉強会も予定の4回の日程は終了いたしました。参加者でディスカッション的な形で進められた勉強会はさらにもう1回5回目を追加で行う程中身の濃い内容となりました。

1 回目 (7月28日)

現在の支援に対する課題、または協会としての今後の活動について参加者がそれぞれ今の思いや願い、あるいは今の実際の様子や疑問、将来についてなどそれぞれの意見を出し合いました。

渡辺さんからは、支援の人づくり、人材づくり、拠点づくりの大切さをこれまでの経験からお話していただきました。活動について、全てのニーズに応じるのは難しく、周囲に振り回される事なく自分たちのペースで進める事。ある程度の価値観やどんな社会でくらしたいか？など共通の理念の元まずは長期計画を立てる必要がある。

障害者の支援というより人を支援するという意識をお

3 回目 (9月15日)

「自分たちのペースで築き上げていくために大切なこと」 私達を取り巻く世の中は大変慌ただしく日々様々な課題が山積するのを感じながら、1つ1つにしっかりと向き合わないまま流されていると、反省する毎日です。月1回開かれた連続講座は、そんな慌ただしさから逃れて「ひまわり」の渡辺施設長の話に耳を傾け、参加者それぞれが、心の整理をするよい機会となったと思います。

第3回講座のキーワードは「理念」でした。障がい者を支える現状としては特別支援教育が始まり、各校にコーディネーターも配置され、支援費制度以降事業所など地域資源も増えているが、「質」はどうか？

「質」を支える事業主体の「理念」はどうか？

「ひまわり」の理念に繋がるピープルファーストの「ひとはみんなのために みんなはひとりのために」という仲間意識は「自分をありのまま受け入れられている」という安心感を生み、自分らしくチャレンジしていける力となっているとの事。

奈良県自閉症協会として、どんな支援が出来るか考えるにあたり、渡辺施設長が「理念のないところに未

療育部紹介

現在普通学級に通学している小学二年生の母です。
一歳半検診でリハセンに紹介され、二歳過ぎに一応卒業。三歳半検診で「オオム返しが多い」と、子ども家庭相談センターから再びリハセンへ。
「自閉症傾向」との診断でOT, STを受けました。激しい偏食、頑固、運動音痴(自転車に乗れません)、学習面でも困難を感じています。
今後どうしていけばよいかと試行錯誤の中で経験者の方のお話が聞けたらと入会しました。どうぞよろしく願います。 Nより

療育部行事

ポニー乗馬に参加しての感想

先日、ポニー乗馬に初参加させて頂きました。
家族で、個人的には何度か行った事は有りましたが、先日の際、ブラッシングの時に、長男はやらないかなあと、私は思っていて、でも、他のお母さんが、「やってみたら・・・。」とブラシを長男に手渡して下さって、そして長男も少しブラッシングをしまして、親の私は、

一療育部施設見学のお知らせ

11月の療育部会は、施設見学を予定しています。

今回は「たんぽぽの家」さんへ伺います。見学場所は、主に「たんぽぽの家アートセンターHANA・わたぼうしの家」などです。昼食はご希望に応じて「楽食オリジナルランチ」(¥700)をご注文いただけます。
なお、見学科として2000円かかりますが、自閉症協会から半分負担させていただきます。

ぜひ、皆様の参加を お待ちしております。
日時：11月24日(火) 10:00~12:00
場所：たんぽぽの家
奈良市六条西3-25-4
TEL 0742-43-7055

<http://popo.or.jp>
申し込み締め切り：11月17日(火)
申し込み・問い合わせ先：
石原 TEL/FAX 0742-36-6298
吉村 TEL/FAX 0745-52-8889

つい、長男は～かなあと 決めつけてしまうようなところがあると思いますが、皆様と参加させて頂いて、良い経験でした。 有難うございました。

ボウリング大会参加者募集

ボウリングが初めての方でも楽しめるトドロキボウルに行ってみませんか？

ガーターにボウルが落ちないようにしたバンジーレーンでボウリングをします。うまく投げられないときは投球補助台を使いますので必ず得点が入ります。
ゲーム代を療育部から負担いたします。参加お待ちしております。兄弟姉妹参加可能です。(兄弟姉妹はゲーム代各自ご負担お願いします)

詳細は参加者に別途ご連絡いたします。
場所：トドロキボウル(大和郡山市白土町)R24沿い
日時：12月12日(土) 13時集合
募集人数： 15名
締切：12月6日
申し込み先：石原 0742(36)6298
吉村 090-3055-2895

※申し込まれるときは、昼食の有無と、施設への質問もあれば、お伝えください。
※施設の駐車スペースに限りがありますので、出来るだけ乗り合わせでお越しください。

お詫びと訂正

10月号絆で掲載いたしました P E C S ワークショップ 奈良の申し込み案内で連絡先・申し込み先のFAX番号に、誤りがありご迷惑をおかけしております。
申し込み先 FAX番号
正しくは、0742-36-0205
誤 0742-26-0202
誤 0742-26-0205
すでに 0742-26-0202又は0742-26-0205宛にP E C S ワークショップ 奈良の申し込みを FAXにて送って下さった方は、申し訳ありませんが再度 0742-36-0205へ再送信していただけますようどうかよろしくお願い申し上げます。
本当に申し訳ありませんでした。
今後とも細心の注意のもと活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

城山ファーム

イモ掘り&焼いも&玉ねぎ植え 無事終了しました!

10月31日・11月3日と 2日かけての イモ掘り・玉ねぎ植えの作業も無事終了しました。1度 イノシシ被害にあった畑でしたが、その後つるは無事でしたので植え直しの後、無事に畑に定着し急な冷え込みがあったすぐ後の比較的穏やかな日に無事収穫ができました。思っていた以上に深く大きな芋がたくさん入っていて結構な重労働となりましたがその作業通り、小さな芋もいれるとカゴに4杯程の収穫となりました。

一緒に植えていた落花生も「ピーナツ堀は初めて!」という大人も一緒にワイワイにぎやかに掘り起こし作業をしました。まずは天日干しをする必要があるらしいですが 思っていた以上にたくさんの収穫にみんな満足でした。

早速3日の日には、焼いもじっくりまったり焼き上げで 玉ねぎ植えの作業の後みんなでおしく頂きました。大きないもから選んで焼かせてもらったので、焼いも屋さんにも負けないと味わいました。

玉ねぎは、いのししには荒らされる事はないはずと来年春が楽しみです。

*収穫したサツマイモとピーナツは、高橋ビルや役員宅にありますので会員皆さまへおすそ分けしたいと思います。早いもの勝ちですのでよかったですら一度高橋ビルにもお立ち寄りください。



名古屋

ドロップスの見学に行ってきました。自閉症支援の為の資源開発として、自閉症啓発を目的に小学校や施設・その他希望の関係機関・関係者向けに自閉症の啓発の活動をされているキャラバン隊を是非奈良にも!とまずは、愛知キャラバンネットワークの中のドロップスキャラバン隊 in 名古屋の漢学

10月25日 日曜日。

名古屋市の療育施設、みどり学園にて、「ドロップス」による発達障害の理解啓発キャラバン隊講演「みんなちがってみんないい知ってほしいな発達障がいのこと」の講演見学をさせて頂きました。見た目にはわかりにくい発達障害の理解と「みんなちがってみんないい」をたくさんの人達に伝えるため、活動真っ最中の「ドロップス」さん。個性溢れる演技や疑似体験などがとても楽しくテンポ良く、また、伝えたいという溢れる想い(!?)に、がっちりハートを掴まれた私でした。ファーストフォーカスの強さやシングルフォーカスなど、難しくなりそうな話もとてもわかりやすく、具体的に楽しく示して下さり、なるほどなあ、そのような説明の仕方があるんだと勉強になりました。また、大音量のCDが流れる中でイヤーマフ体験もしました。実際に体験するまでは、

何もかも聞こえにくくなるのかな?と誤解していたのですが、そうではなく、人の声は割と聞こえるけど、ノイズがカットされて、うるさい中でも落ち着いて過ごせそうだ、「これはいい!!」っと実際にはめてみてしっかり体感する事ができてとてもよかったです。

また、メンバー皆様のパワーと明るさ、団結力が素晴らしく、同じ立場である自閉っ子の母としては、なんと羨ましい活動だなあと、そんな風に感じました。ハンディと向き合うものにとって、まわりの理解というのは本当に難しく、でも、自閉症の人たちはそれを得られないと地域で豊かに生きていく事はとても困難で……。現状では自分の子どもの事だけ考えていても、限界があるなあと感じていた今日この頃でしたが、ドロップスさんの活動を見学させて頂き、本当にシンプルに何か始めることが大切なのかもしれないってそんな風に感じました。フォーマルな支援だけでなく、インフォーマルな支援。この活動を続けていけたらその実現がきっとできる!! 奈良でも是非キャラバン隊をやりたい!!・・・と、そんな風に思う私でありました。 by KAWA I

ドロップス キャラバン隊 in 名古屋

<http://doroppus-kyaraban.cocolog-nifty.com/blog/>

ケンケンパ定例会のお知らせ

ケンケンパ定例会のお知らせ
(奈良県自閉症協会高機能・アスペルガー一部会)

場所：大和郡山福社会館 会議室

日時：11月30日(月) 9:45～

お問い合わせ&申込み：info@kenkenpa.org

ケンケンパでは新たな試みとして、『親と子どものためのグループワーク』を行っています。

第3回目 のテーマは“課題中の逸脱への対処”です。

グループワークを通じて、よりよい親子関係づくり + 子どもの適応行動の増加 + 自分育てを目指し、一緒に考えていきませんか。皆さんのご参加、お待ちしております。

※お車でお越しの際は、保健所と福社会館の間の道に入り、奥の平面巨大駐車場をご利用ください。



は眠いし、またいやな授業があるとさっさとやりません。

ですが、この「発達障害」を持つ子はそういった理由とともにまた別の理由もあることを忘れてはいけません。自分がそういう用意をするイメージが浮かばない、手順がわからないなどの障壁もあるのです。

今回は少々学問、研究的なアプローチで表などを使用してややめんどくささ感もありましたが(笑)、客観的にこどもはこういうプロセスを踏めば達成できるという核はつけるのではないかと感じました。

またいつ何時、だれかにこどもを託すときがあったとしたらこの手がかりは有効だと思います。

実はそのインフルエンザのおかげで学級閉鎖になった息子(彼は健康体)を連れて例会にきたのですが、息子には「お母さんは勉強する会にきている。9時半から12時までです。それまでは宿題と好きな本やおもちゃを持って待ってられる？」という「わかった。」という返事で臨みました。

宿題もすませ、やや手持ち無沙汰になった頃、11時15分。「もう帰ろう！」とそわそわとしたので、一応「まだ11時15分だよ」と時計を見させましたがもう帰りたいそうだったので、あらかじめ断りをいれていたところも

♪ 10月ケンケンパ例会レポート

日時：10/30(金) 大和郡山市福社会館 会議室

参加者：6名

内容：ペアレントトレーニング「目標設定～課題分析～支援のポイントをしぼろう」

前回に続き、世話人山田さんによるペアトレ・セッション。

新型インフルエンザの影響か前回に比べて出席者はやや少なかったですが、

その分、出席された方の持ち時間も長く中身の濃いセッションとなりました。

「朝の通学の用意」。

何度いっても自分でしない、すぐ別のことに気をとられる。

どんなお子さんでも大なり小なりあるとは思いますが。朝

あり帰り支度をして去ろうとしたところ、「いや、やっぱりいる。」とまた席にもどりました。

そして12時。「さあ、終わった！帰ろう！」といったので、まだセッションは続いていたものの彼の目標達成したのでお先に失礼させていただきました。

しかし、その時、出席しておられた方から「えらかったね！」「よくがんばったね！」とほめていただいてうれしそうに会議室を後にしました。

発達障害を持つ彼らは予期せぬ出来事やその場での対応などはとても苦手ですが、前もってアナウンスして、その間何をしてあげばいいか、そしてその後、ちゃんとほめてあげると彼らにとっての「仕事」はきちんと遂行すること。生きた例として、示してくれました(笑)。良い仕事しました。えらかったね。そして、そんな彼に暖かいエールを送ってくださった出席者のみなさん、本当にありがとうございました！

次回はペアトレの3回になります。一度も行ってないという方も大丈夫ですよ。

色々な事例を聞くことは本当に選択肢の幅もひろがりませず。ぜひご参加ください！

平成21年度 赤い羽根共同募金助成金事業

特定非営利法人奈良県自閉症協会 自閉症の理解と支援の為に映画上映会

ぼくはうみがみたくなりました

原作の『ぼくはうみがみたくなりました』は、自閉症児・大輝(ヒロキ)君の父親である脚本家・山下久仁明氏が「一人でも多くの人たちに自閉症のことを知って欲しい」という思いから2002年に書き下ろした小説です。映画化を企画し、インターネットで制作費のカンパを呼びかけた矢先の2006年3月、山下氏は中学を卒業したばかりの大輝君を事故で亡くされました。その3年後、全国の賛同者1,000人以上からの寄付金をもとに、2009年の春、ついに映画が完成し、東京で上映され、大好評でした。この映画を是非奈良でも!!という声にお答えし、今回は山下氏をお迎えして上映することになりました。是非皆様お誘いあわせの上お越しください。

日時 平成22年1月30日(土) 10:00~山下氏舞台挨拶(約15分)その後上映(1時間43分)

場所 奈良市北部会館 市民文化ホール

奈良市右京一丁目1番地の4 奈良市北部会館3階 TEL 0742-71-5747

近鉄京都線高の原駅下車、南へ徒歩約5分 <http://www.hokubu-hall.city.nara.nara.jp/access.html>

参加費 無料 (カンパ箱を設置していますので、ご協力 よろしくお願ひします。)

定員 200人

申し込み不要 当日受付しますので直接会場にお越し下さい

問い合わせ先 渡邊 智美 etomomi@d1.dion.ne.jp 河村 舟二(事務局) 0743-55-2763

平成21年度独立行政法人社会福祉医療機構助成

「自閉症児者の療育と就労資源開拓事業」特定非営利活動法人 奈良県自閉症協会 主催

動作法実践のご案内

「保護者のためのストレスマネジメント」マニュアル本作成のための実践

講師 中野 弘治氏

動作法を学び、ストレスでガチガチになった体をほぐしてみませんか?子どもとのコミュニケーションに役立ててみてください。

日時 平成21年 12月4日(金) 10:00 ~ 15:00 (9:30受付)(昼食は各自用意ください。)

場所 奈良市総合福祉センター 大会議室

奈良市 〒631-0801 奈良市左京5丁目3番地の1 TEL (0742) 71-0770

アクセス 近鉄高の原駅下車→高の原駅より奈良交通バス「左京循環内・外回り」乗車「総合福祉センター」バス停下車すぐ。 駐車場はあります。建物前でなく、奥の駐車場を使ってください。

参加費 無料 定員 20人

申し込み先 光野 TEL&FAX (0742) 71-4088 nahi-kon@m3.kcn.ne.jp

参加者の名前・連絡先・自閉症協会会員か非会員をお知らせください。

締め切り 11月20日 (希望者が多数の場合、主催者にて選考させていただきますこと、ご了承ください)



平成21年度 赤い羽根共同募金助成金事業

特定非営利法人奈良県自閉症協会 自閉症の理解と支援の為のつどい

自閉症理解講座

あなたが あなたで あるために！

その子らしさを 生かす 子育て

～思春期の安定・思春期の飛躍～

講師 吉田 友子 医師

(児童精神科医師・ペック研究所主宰)

日時 平成22年1月30日(土)

13:00～16:30(12:30受付)

場所 奈良市北部会館 市民文化ホール

奈良市右京一丁目1番地の4 奈良市北部会館3階 TEL 0742-71-5747

近鉄京都線高の原駅下車、南へ徒歩約5分 <http://www.hokubu-hall.city.nara.nara.jp/access.html>

参加費 1,000円 定員 200人

申し込み不要 当日受付しますので直接会場にお越し下さい

お問い合わせ 光野 節美 nahi-kon@m3.kcn.ne.jp 河村 舟二(事務局) 0743-55-2763

ペック研究所とは、Institute of PsychoEducation for Children のことで、子どものための心理学教育研究所の略です。自閉症アスペルガー症候群の子どもたちが自分自身について学んでいくための道しるべを、子どもたちと一緒にみつけていきたいと願っています。 <http://www.i-pec.jp/index.html>

吉田 友子(よしだ ゆうこ) 東京都出身 児童精神科医師

1985年、東京慈恵会医科大学卒業。聖マリアンナ医科大学病院精神療法センター・東海大学病院児童グループ・横浜市リハビリテーションセンター児童精神科勤務を経て、横浜市北部地域療育センター設立(1994年1月)から6年間児童精神科部門を担当。よこはま発達クリニックの設立準備に携わり2000年2月より勤務。現在も診察はよこはま発達クリニックでのみ行っている。1994年より横浜市内の福祉保健センターで1歳6ヵ月児療育相談を担当。

著書 ・高機能自閉症 アスペルガー症候群

「その子らしさ」を生かす子育て

中央法規出版 改訂版 2009/6

・あなたがあなたであるために

自分らしく生きるためのアスペルガー症候群ガイド

吉田友子著 ローナ・ウィング監修 中央法規出版 2005/6



イラスト伊藤じゅんいち

平成21年度独立行政法人福祉医療機構助成事業「自閉症児者の療育と就労資源開拓事業」

主催 特定非営利活動法人 奈良県自閉症協会

成人支援者の為の勉強会ご案内

早期発見、早期療育の大切さは 認知されてきましたが、自閉症スペクトラムの人の支援は生涯に渡って継続必要です。成人の方や成人へ移行年齢の方の支援をされている方を対象に セミナーを計画いたしました。質の高い、きめ細やかな支援を展開できるよう、情報提供をはじめ仲間作り、幅広い様々な支援ニーズに連携して対応しながら 支援の成果蓄積をめざしたいと思っております。関係者の方のご参加をお待ちしております。

日時 11/4(水)・12/2(水)・1/20(水)・2/17(水)・3/17(水)

午後 6:30~8:30

場所 奈良商工会議所 A会議室 <http://www.nara-cci.or.jp/access/index.html>

奈良市登大路町36-2 *近鉄奈良駅 1番出口 すぐ

内容・講師

- ① 11/4(水) 自閉症の特性と支援の原則 中山清司氏 (北摂杉の子会スーパーヴァイザー)
- ② 12/2(水) 評価と個別プログラム 中山清司氏
- ③ 1/20(水) 事例「作業/就労支援の取り組み」 高橋亜希子氏 (アクトおおさか)
- ④ 2/17(水) 事例「入所施設の取り組み」 大中りよ子氏 (金剛コロニー)
- ⑤ 3/17(水) 行動マネジメント、Q & A 中山清司氏

参加費 無料 定員 50名 参加申込み FAX 又は メールにて 申込み締め切り 10月31日

参加対象者 中学生以上の支援をされている方で 原則全5回とも参加できる方

TEL・FAX 0742-36-0205 asj_nara_oomiya@yahoo.co.jp

ふりがな		性別・年齢	会員の有無
名前		男・女 () 歳	会員 非会員
連絡先	TEL/FAX		mail (携帯可)
所属先			

該当するところにチェックと 記入をお願いします。

☆ 支援している人の(対象)年齢 () 歳 ☆ 支援を始めて () 年目

構造化支援をしている:() 年目 支援について 悩んでいる

奈良県自閉症協会講演会・セミナーに参加した事がある

奈良県自閉症協会活動ボランティア経験あり

参加希望動機 []

平成21年度独立行政法人福祉医療機構の助成による「自閉症児者の療育と就労資源開拓事業」

発達・療育相談の実施のお知らせ (無料)

自閉症スペクトラム児の発達・療育相談会を電話・FAX・メールにて 個人の発達相談をお受けいたします。相談員は、ペアレントメンターが同じ悩みを持つ親の立場で相談を受けます。必要な場合は 発達相談員、障害児学級教員、養護学校教員などのボランティアによる ご相談もお受けいたします。

問い合わせ・申し込みは FAX 又は メールにて ご連絡下さい。

TEL/FAX 0742-36-0205 (TELの場合は留守電に連絡先を)

E-mail asj_nara_oomiya@yahoo.co.jp

奈良県自閉症協会HP <http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

☆ FAX と メールによる簡単な相談も 随時受け付けいたします。

1週間以内に 返信いたします。 メール希望 () FAX希望 ()

相談者氏名		本人との続柄
又は 参加者		
住所	〒	電話 FAX
奈良県		
生年月日	年 月 日 () 才	
ふりがな 名前		男・女
学校又は職業	()	
	保育所・通園施設・幼稚園・小・中学校・高等部・就職・作業所	
生活の場	自宅・施設	自閉症協会 1. 会員 2. 会員でない (○をつけて下さい)
今回相談なされたい内容 (事例提供・相談者のみ)		

*お寄せ頂いた情報は相談会のご連絡や 相談以外には使用いたしませんのでどうかご安心願います。

*上記の番号の電話を 同じ自閉症児者を育てている保護者たちで お電話をお待ちしております。最初はお話を聞かせてもらうだけで 精一杯ですが専門家の方や いつもお世話をかけている支援者さんには お伺いしにく事、今更こんなことを聞けない事など、仲間として気軽にお電話してみてください。

水曜日以外の11:00~14:00の間が 比較的、お電話を取りやすいです。

発行人：関西障害者定期刊行物協会

住 所：〒536-0023

大阪市城東区東中浜3-5-16タイガーマンション1F

編集人：河村 舟二

定 価：100円